

# ナンテン

【 区画⑦(34), 区画㉚(149) 】

学名 がくめい	<i>Nandina domestica</i> Thunb.	分類 ぶんるい	メギ科ナンテン属 か ぞく
分布 ぶんぶ	日本中部および南部以南 にほんちゅうぶ なんぶいなん	樹高 じゅこう	2~3m程度の常緑低木 ていど じょうりょくていほく

## 〈 特徴等 〉

名前の由来 なまえ ゆらい	・ 南天燭あるいは南天竹の南天から名づけられた。			
葉の特徴 は とくちょう	① 常緑 じょうりょく	・ 落葉 らくよう	② 広葉 こうよう	・ 針葉 しんよう
	③ 対生 たいせい	・ 互生 ごせい	④ 単葉 たんよう	・ 複葉 ふくよう
開花等 かいかどう	・ 6月頃に茎の先に多数の小さい白い花を咲かせる。			
結実等 けつじとう	・ 秋から冬にかけて多数の球形の赤い果実をつける。			
その他 ほか	・ 暖かい常緑樹林にしばしば野生化するが、普通は装飾植物として庭園に植えられる。 ・ 3回羽状複葉と呼ばれる珍しい葉の形をしている。			

## 〈 写真 〉

樹木 じゅもく	樹皮 じゅひ	葉の付き方 はつきかた
		 複葉のうちの一部(小葉) ふくよう いちぶ しょうよう
樹木 (4/3)	樹皮 (4/3)	葉の付き方 (4/3)
 複葉のうちの一部(小葉) ふくよう いちぶ しょうよう		
葉 (6/12)	花 (/)	果実(実) (/)

参考文献 > 牧野富太郎 (2017) 『新分類 牧野日本植物図鑑』 北隆館, p. 468.

林 将之 (2018) 『葉で見わかる樹木 増補改訂版』 小学館, p. 258.